

香港・マカオにおける日本製品の食品安全に関する調査サマリ

現地での懸念要素

調査結果

放射線物質

- 香港における基準値はコーデックスのガイドラインを基準としているため安全である点、日本製品についても基準を超えた商品は発見されていない点が強調(香港議会)

その他食品安全に関する課題

- 輸入水産物からの水銀の検出・魚種の表示問題が過去にメディアで報じられたが、直近では同様の事象は発生していない(香港)
- 直近では、処理水の影響・鳥インフルエンザの発生が懸念(香港)

消費者の認識

- 香港・マカオ共通で、日本製品の品質・安全性への信頼は高く、菓子・青果物のニーズが高い
- 北海道等を除いて、都道府県レベルの産地は認識されておらず、購入時も意識されていないケースが多い

福島県産品・北関東産品

- 北関東産品のテストマーケティングにおいても、好意的に受け止められており、北関東産品に対する拒否反応は見られない
- 福島県産品は一部で敬遠する消費者も残っているが、香港Donkiで行われたフェアでは、福島県産の桃・日本酒のファンの存在を確認

事業者の認識

- 多くの流通・販売事業者は福島県産・北関東産品に対する抵抗感はなく、一部で福島県産品を敬遠する事業者が存在する程度
- 震災から時間が経過しており、現地消費者で懸念する層が減っていることと、日本製品のブランドを求める層が多い点を指摘

- 放射線物質の検査結果を含めて、日本製品の食品安全に関して、香港・マカオで特筆すべき問題・懸念は近年では発生していない
- 北関東産品に対する拒否反応はなく、福島県産品に関しても、桃・日本酒等での現地ニーズも確認された
- 処理水対策をはじめ、日本国内での食品安全の対策を確実に進めていくことを前提として、福島県産・北関東産品の輸出を拡大することは、香港・マカオの事業者・消費者ニーズにも合致している

事業者における日本製品の食品安全に関する認識（事業者インタビュー結果）

調査結果

放射線物質

- 既に事故から10年が経過し、多くの流通・販売事業者は福島県産品・北関東産品に対する抵抗感はなく、一部で福島県産品を敬遠する事業者が存在する程度（香港輸入業者・マカオメディア事業者）
- 多くの消費者は都道府県レベルの産地までは購入時に気にしないが、品目によっては福島近隣県かどうか産地を気にする場合がある（香港小売・輸入業者）
- 福島県は知っているが、福島県近隣の自治体名や食品の輸入規制は知らない消費者が多い（香港・マカオ輸入業者）

日本産品への評価

- 香港では日本人以上に日本産品への関心度が高く、日本産品に対する信頼も高い。日本産品のブランドを求める層が多い（香港輸入業者）
- 香港では日本産品の日常品としての購入頻度は高くないが、春節等に縁起物として日本産食品は良く購入されている。赤は縁起がよいといわれるためギフト用の日本産イチゴはよく購入される（香港輸入業者）
- 市場に流通している日本産品は安全性が担保されていると感じており、特に日系の事業者が販売している場合、福島県産品であっても安心して購入する消費者もいる（香港輸入業者）

特定品目に係る購入意向

- 香港では桃のニーズが高く、福島県産の桃のニーズは見込める。他に福島県の日本酒も人気があり、価格がお手頃で、味も香港市民の好みに合うため、商談会でも人気がある。品目によって熱心なファンがいるため、消費者によって訴求する品目を変える方針がよいのではないかと（香港関係者・輸入業者）

今後の展開

- DonDonDonkiは香港でも店舗を拡大しており、日本産品の品質・安全性に問題がない点をフェア等でアピール頂けると、効率的に現地消費者に伝えることが可能（香港関係者）
- カジノ産業（IR）と日本産品に強い関係性がある。カジノの中には高級料理店があり、好んで日本産食品を原材料として使用している。よく輸入される品目は和牛・野菜・魚（マカオメディア業者）

消費者における日本製品の食品安全に関する認識（消費者インタビュー結果）

調査結果

放射線物質

- 福島原発事故についてニュースで聞いたことがあるが、10年前の話なので現在は気にしていない（香港人・マカオ人/20代）
- マカオのテレビ局を通じて東日本大震災の地震による放射能漏れを知ったが、最近では報道には特に注目していない（マカオ人/20代）
- 日本食は一般的に安全であると言われており、更に輸入税関で放射性物質等の検査も実施しているので、購入・摂食に関しては、十分に安心できると思う（マカオ人/30代）

日本製品への評価

- 日本政府は食品に対して厳しく検査しており、食品安全に関する対策も手厚いため（例えば、健康被害を起こした時の対応等）、基本的には日本産品を信頼している（香港人/20代・50代）
- 子供用の食品に関しては、安全性を重視するために日本産品をよく購入する（香港人/50代）
- 日本産の鶏卵は品質管理が厳しく、生でも食べれるため、生卵の料理を食べる時は日本産鶏卵が欲しい（香港人/20代）
- 日本産品は他国産品と比べ値段は高いが、高品質。厳密に品質管理が行われていると感じる。食品の安全性に不安は感じておらず、日本食の問題点の情報もあまり見かけない（マカオ人/20代・30代）

購入時の産地への意識

- 日本産品を購入する際に、日本の産地はわざわざ確認しない。パッケージに日本語が書いてあると日本の商品だと思う（香港人・マカオ人/20代・30代）
- 福島県周辺の地域も概ね普通の生活を取り戻してきたと認識しており、特に心配しなくてもよいと考えている（マカオ人/30代）
- 鹿児島肉、北海道牛乳、広島牡蠣などに良いイメージを持っている（香港人/10代）
- 日本では福島県の桃が有名だと聞いており、香港Donkiの福島フェアで「桃の恵み」を購入した。コロナが落ち着いたら福島へ旅行に行きたい。（香港人/女性）

(参考) 香港DonDonDonkiで開催された福島フェア視察結果 (OPモール本店)

フェア概要

販売商品

- 桃ジュース、濃縮桃酢
- コメ、日本酒
- ふりかけ、ご飯の素
- 弁当 等28種商品

人気商品

- 「お弁当などのデリカ商品」や「桃の恵み」が大人気
- 「天のつぶ」を使用した「肉ゴロっとおにぎり」や「ソースカツ丼」、「炊き込みご飯」は連日完売

消費者特徴

- 25-40歳の消費者が多い
- 夫婦/カップルで見に来る場合が多い

食品安全性の説明

- 現場スタッフが消費者へ口頭で放射線物質に関連する食品の安全性について説明

福島県の表示



消費者の声

- 香港DON DON DONKI のInstagramで紹介されていたお弁当（ソースカツ丼）を目的に来店し購入したが、側に置いてあった「肉ゴロっとおにぎり」にも大変興味を持ち、追加購入した。（30代/香港人/男性）
- 5倍希釈して飲む「フルビネ(果実酢)」に惹かれて購入した。福島のことをあまり知らないなので、この機会にパンフレットを持ち帰って勉強したい。（50代/香港人/女性）
- 「天のつぶ」というお米の品名に特別感を感じ、惹かれて買ってみた。（香港人/男性）
- 過去に福島へ行ったことがあり、当時食べたものが買えて、とても嬉しかった。（香港人/夫婦）
- 日本では福島の桃が有名だと聞いていたから、「桃の恵み」を購入した。コロナが落ち着いたら福島へ旅行に行きたい。（香港人/女性）
- 輸入禁止の県は福島県しか知らない、他にも輸入禁止の県があることについて知らなかった。（香港人/女性）

